

白老と戦争の記憶

戦後70年。各地で様々な追悼や不戦に向けた行事が行われていますが、当時を語る方々も少なくなり、一人一人の記憶も薄らいでいます。

陣屋資料館では8月22日午後、戦争の体験談等を3部構成でお話いただき講演会を実施します。

昭和19年12月21日、痛ましい事件は白老でも発生しました。軍用に設けられることになった萩野飛行場の勤労奉仕として、軍用トラックの荷台に乗せられ向っていた虎杖浜女子青年団員が、竹浦の踏切付近で事故に遭い、いずれも10代の4名の団員が尊い命を失いました。

忘れてはならないこの悲惨な事故の目撃談のほか、これを題材とした子ども向けの紙芝居も行いますので、ご家族揃ってご来場下さい。

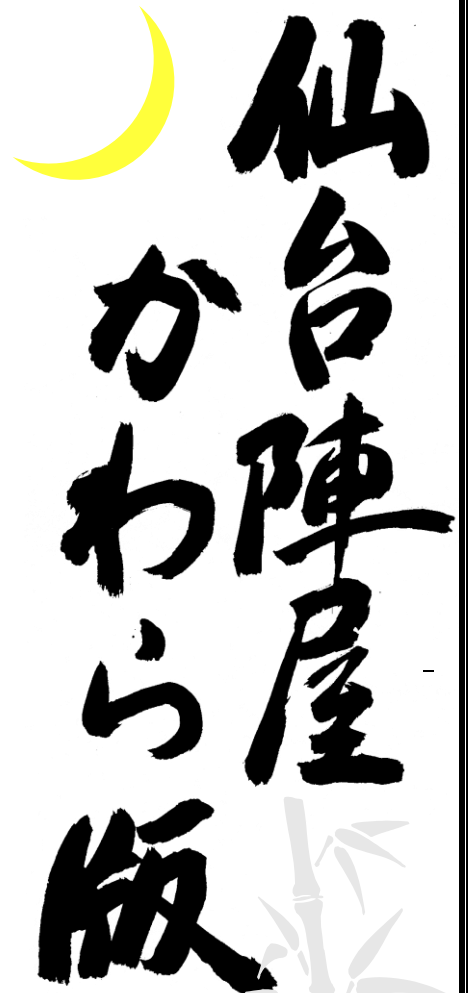
日時：平成27年8月22日（土） 13時30分から

場所：白老コミセン204号室

講師：塚見秋夫さん、加藤正恭さん、平松幸子さん

予約：不要

参加料：不要



第119号

(平成27年8月号)

発行：仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666



<100点以上の資料を展示しています>



「しらおいの医師 高橋房次」展は8月16日まで

「貧しい人も富める人も平等に医療を受けられるべきだ」と生涯訴え続けた高橋房次医師の展示会を開催中です。今回は道内初公開となる資料も併せ、実物で80点、複写利用で20セット、関連写真約40点を紹介。高橋家をはじめ、小山市の乙女八幡宮や間々田八幡宮、日本医科大学中央図書館など、多くの方々や機関にご協力をいただきました。7月18日の開幕日には、孫の岳氏も駆けつけ、思い出話とともに展示を楽しんで行かれました。

医師の綴ったエッセイや新聞への投稿記事を辿り解ったのは、その献身的な医療活動や人柄は、やはり類稀な信念に支えられていたことでした。また、病気に罹っても医者へ通えない環境が、当時の北海道では決して珍しくなかったことも、房次の遺品や足跡を眺めることで改めて実感できました。

房次は白老にとって特別な人物であるだけでなく、北海道の歴史やアイヌ政策の歴史などの観点においても貴重な実態を伝えてくれています。この機会をお見逃しなく。

ホタル観察会はいかがですか？

日程：7月31日(金)
8月1日(土)
時間：19時30分～20時30分
集合：仙台藩白老元陣屋資料館
料金：不要です
注意：虫刺され対策として、なるべく肌の露出が少ない服をお勧めします。

夏の陣屋の恒例行事であるホタル観察会の時期が近づいてきました。最近では北海道も暖かくなっているせいか、観察ができるピークもやや変化しつつあるように思います。

「陣屋跡ホタル観察会」は、そうした傾向を踏まえ、今年は実施日を少しだけ早めてみました。吉と出るか凶と出るか、職員も色々な意味でドキドキしています。

夜の史跡はとても暗いですので、集合時間には特にお気をつけください。

お客さまが続々！

ケネルからはるばる
7月3日(金)カナダのケネル市から姉妹都市交流事業の一環として、12名の子どもを含む19名の方々が資料館の見学にやってきました。日本独特の鎧兜の試着にも大興奮。武士になりきって、鎧迫り合いで盛り上がっていました。
また、館内の解説中も故郷では見たことのない、様々な当時の日用品に驚きの声を上げていました。
時差の関係でお疲れでもあったと思いますが、楽しい体験と思い出がお土産になったことでしょうか。

一日、子ども学芸員

6月から7月にかけて、札幌と小樽から多くの小学生が資料館へ職業体験に訪れました。

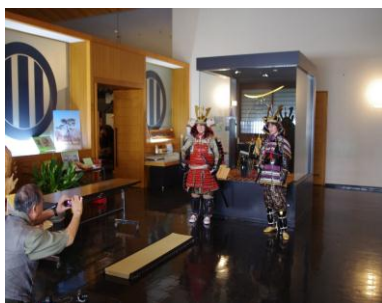
学芸員の仕事は多岐にわたります。その中でも今回は埋蔵文化財を中心に、土器の水洗いと拓本の作業を体験してもらいました。埋蔵文化財を管理・保管する上でも重要なものであるとの説明に少し緊張している様子でしたが、それも作業を進めるうちに解れていったようです。

おおよそ、1時間半ほどのスケジュールを通し、学芸員はいろんなことをしないとけない仕事だと実感してもらえました。

三好先生がいらっしやいました

7月8日(水)白老元陣屋建設の立役者である三好監物のご子孫、耳鼻科医の三好彰先生が仙台から来町されました。先生は先祖縁の地でもある白老との関係をととても大切にされ、毎年お忙しい中、町内児童・生徒の診察を下さっています。何と通算28年目。

資料館では同行の看護師2名が鎧兜を試着し、先生自らカメラのシャッターを切って撮影していました。先生がスタッフをととても大事にしているのが伝わってくる光景も見られました。続いて館内を平野学芸員が案内したのですが、女性2名はととても暑いにも関わらず、鎧兜が入ったのか、着用したまま見学していました。来年も先生の元気なお姿が見られるのを、一同楽しみにお待ちしております。



〈解説を聞く三好先生一行〉



「仙台陣屋かわら版119号(平成27年8月号)」

発行日:平成27年7月24日(金)

発行所:仙台藩白老元陣屋資料館 担当者:平野・工藤

<http://www.town.shiraai.hokkaido.jp/bunkai/linya/>

Mail: linya@town.shiraai.jp

☎0010-20000